

第Ⅰ回高島市地域包括支援センター運営協議会 議事録（要旨）

会議名	第Ⅰ回 高島市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和８年６月２５日（木）午後１時３０分～午後３時３０分まで
場所	高島市役所 新館３階 会議室ⅠⅠ・ⅠⅡ
委員出席者 （１４名／１７名）	本多委員、野上委員、向井委員、井上委員、武長委員、川島委員、衆原委員、出口委員、橘委員、伊原委員、西村委員、林委員、明保能委員、永田委員
委員欠席者	松本委員、小島委員、青谷委員
事務局	【健康福祉部】 部長 古谷、次長（健康推進課） 齊藤 【高齢者支援課】 課長 清水、主監 上原、参事 落川、主任保健師 小谷、 保健師 多胡、主査（社会福祉士）南条、主事（社会福祉士）松岡 【介護保険課】 課長 田中 【あいりんつむぎ地域包括支援センター】 仁賀所長、田中管理者 【高島・安曇川地域包括支援センター】 白井所長
会議次第	１．開会 ２．議題 （１）報告事項 令和７年度事業実績報告および決算報告について ①高島市地域包括支援センター ②あいりんつむぎ地域包括支援センター ③高島・安曇川地域包括支援センター （２）協議事項 ①令和８年度事業の方向性について 令和７年度地域包括支援センター運営協議会グループワーク結果から ②高齢者の課題を解決するために、地域包括支援センターは何をすべきか （３）その他 ３．閉会
会議資料	次第・委員名簿 資料 １ 令和８年度地域包括支援センター運営協議会（令和７年度事業実績報告） 資料 ２ 令和７年度地域包括支援センター運営協議会結果から 資料 ３ 高齢者の課題を解決するために、地域包括支援センターは何をすべきか 資料 ４ 高島市地域包括支援センター 収支決算書 資料 ５ あいりんつむぎ地域包括支援センター 収支決算書 資料 ６ 高島・安曇川地域包括支援センター 収支決算書 資料 ７ 令和８年度高島市地域包括支援センター運営方針 資料 ８ 令和８年度高島市地域包括支援センター事業計画 資料 ９ 令和８年度あいりんつむぎ地域包括支援センター事業計画 資料 Ⅰ０ 令和８年度高島・安曇川地域包括支援センター事業計画 参考資料 高島市地域包括支援センターの業務

1. 開会

古谷部長より挨拶

委員出席者数の確認 17名中14名の出席により、本会議は成立。

会長・副会長選出

会長：永田委員、副会長：武長委員

永田会長より挨拶

2. 議題

(1) 報告事項 令和7年度事業実績報告および決算報告について

事務局	資料1、資料4～6にもとづき報告
委員	資料4 歳出 4段目第1号介護予防支援事業が2段あるのはなぜか？
事務局	上の段 人件費抜きの額 下の段 人件費込みの額となります。説明記載が抜けておりました。
委員	理学療法士、作業療法士の出役事業を教えて欲しい。
事務局	資料1 P15 出前講座、P21 フレイル予防サポーター養成講座、P18 あしたの体操体験会、P22 地域リハビリ活動支援事業となります。
委員	従前相当が増えた理由は？具合が悪くなり、身体介護が増えたということですか？
事務局	身体介護も増えておりますが、独居の方も増え、服薬管理の必要な方や、認知症等により専門的な介入が必要な方が増えたことにより従前相当が増えている状況です。
委員（会長）	訪問Bシルバー人材センターの実績減少理由はどんなことですか？
事務局	スタッフの高齢化により、人材不足で請け負うことが難しい状況となっています。ボランティア養成講座も開催してはいますが、人材確保には結びついていない状況があります。
委員（会長）	訪問Bは担い手確保に課題があるということですね。
委員	本多委員の質問への補足になりますが、健康推進課が行う一体化予防事業にもリハビリ職が出役しています。 セラピストの派遣調整をしていますが、日曜日は出にくい状況で、また、組織としても出にくい等があります。セラピストの数が高島市は少ない。派遣や体制整備について委託を受けて、県の方にリハ職の派遣等合同での取り組みを推進し、圏域間で活動できるようになってきました。特に高島市は人材不足で圏域をまたいでの派遣も検討されている。 高島市は市外のセラピストの受け入れについてどのように考えているのか？他圏域のセラピストの派遣活用など考えておられるのか。
事務局	検討していきます。また、9月の一般介護予防評価会議の議題にもあげていきたいと思います。
委員	包括同士の連携や関係機関との連携の割合の内訳はありますか？
事務局	現時点で正確な数字はありませんが、複合多問題が増え、訪問、会議等1つのケースでかわる人数が多くなっているため、関係機関の数が多くなっていると感じています。連携は増えていますが、具体的な分析は今後していきたいと思います。

委員	あいりんつむぎ地域包括支援センターの業務委託費が多くなっている理由は？
事務局（あいりんつむぎ地域包括支援センター）	前年度の決算額をもとに出しているが詳細不明。確認しておいて説明を行います。
委員	ケアプランについて、委託せず自前で行っているところで増減があるのかと推測しますので、解決しました。
事務局（あいりんつむぎ地域包括支援センター）	処遇改善等の影響もあります。このあたりについては市と検討していきたいと思います。
委員（会長）	基幹包括それから委託包括の皆さんも、職員数は変わっていないが、仕事はどんどん増えていくという状況とそれからケース数だけではない、そのケースの複雑さも今日皆さんのご報告の中でご紹介いただいたと思います。

（２）協議事項 ①令和８年度事業の方向性について

令和７年度地域包括運営協議会グループワーク結果から

事務局	資料２にもとづき報告
グループワーク	今年度の事業計画より、グループワーク実施。

②高齢者の課題を解決するために、地域包括支援センターは何をすべきか

事務局	資料３にもとづき報告
A グループ	<テーマ：医療・健康関連資源の活用> 家族やＣＭが分からないと支援が必要でも継続できないことがある。医療介護連絡帳がお薬手帳ぐらいの大きさになれば、持ち運べ、ケアマネ等もわかるため、それぞれの支援がつながりやすくなるのではないかな。
B グループ	<テーマ：生活支援・地域資源の活用> 平和堂の空きスペース等の場所の活用、送迎車両の空き車両等の物の活用、仕事の隙間時間の人の活用をすすめていく。それらのコーディネートを含めがしていけるとよいのではないかな。
C グループ	<テーマ：高齢者が地域の担い手になるための仕組み> 地区のサロン、ボランティアで高齢者が活躍しているが、参加する方が限られている。交通アクセスの問題があり、活動できない人もいます。 アウトリーチ活動をして出向いてつなぐ。外へ出られない人、リスクの高い人への働きかけが大事。

（３）その他

事務局	今現在、市の三包括のうち二つの委託包括については今年度末が契約期間となり、次年度に向けた相談を関係法人、団体とさせていただいています。次回の運営協議会の中では次年度以降のご報告もさせていただけるかと思います。
-----	--

３．開会

武長副会長より挨拶